

財政健全化に向けた方策

魚津市(目標5億円)

1. 基金繰入をなくすために

- ①投資的経費(公債費)の抑制
 - ◆施設整備年度の見直し、市債発行額の抑制
- ②公債費の平準化
 - ◆市債償還年数見直しによる公債費の平準化
- ③公共施設管理コスト縮減
 - ◆公共施設再編(廃止・統合、経費見直し)の実施
- ④事務事業の見直し
 - ◆補助金や総合戦略事業等の見直し(終期設定)
- ⑤人件費の圧縮
 - ◆定員管理計画の見直し(職員数削減等)
- ⑥歳入確保
 - ◆使用料の見直し ◆市税徴収率向上

※①～⑤の取組について、具体的な削減額を設定

2. 臨時的な経費に対応する基金積立

- ①普通財産売却
 - ◆公共施設廃止に伴う公有財産の売却
- ②繰越金の積立

(参考)高岡市(目標40億円)

- ①投資的経費の抑制(公債費△3億円)
 - 市債発行額 年間45億円以内
- ②公債費の平準化(目標△7億円)
 - 市債の一部借換えによる公債費平準化
- ③公共施設管理コスト縮減(△6億円)
 - 再編計画による再編の実施 60施設
 - 早期方針の決定 79施設
- ④事務事業の見直し(目標△15億円)
 - 217事業 △2.8億円、繰出金△1.5億円等
- ⑤総人件費の圧縮(目標△5億円)
 - 目標数△70人
- ⑥歳入確保(目標+4億円)
 - ◆徴収率向上 3億円
 - ◆使用料、ふるさと寄附、広告等 1億円